

第6次高浜市総合計画推進会議（第2回） 会議録

日 時	平成27年5月12日（火）午後6時00分～6時50分		
場 所	高浜市役所 第2会議室（4階）	傍聴人数	5名
出席者	委 員	中川幾郎、酒井康満、井野代司彦、岩月義成、清水恵子、高桑雄司、竹内一仁、内藤靖子、古橋知美、宮田克弥、神谷坂敏（11名出席）	
	行 政	教育長 岸上善徳 総務部長 新美龍二 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 神谷美百合 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 森野隆 財務グループ リーダー 内田徹 文化スポーツグループ リーダー 岡島正明 学校経営グループ リーダー 内藤克己 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 山下浩二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 芝田啓二 地域福祉グループ リーダー 杉浦崇臣 保健福祉グループ リーダー 加藤一志 人事グループ リーダー 野口恒夫 税務グループ リーダー 鶴殿巖 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 平山昌秋 上下水道グループ リーダー 竹内定 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志（24名出席）	
	事務局	企画部長 加藤元久 総合政策グループ リーダー 木村忠好 同 主 幹 鈴木明美 同 副主幹 榊原雅彦 同 主 査 山本久美 同 主 事 稲垣翔太 同 主 事 岡田真吾 同 主 事 加古博紀（8名出席）	

次 第	1 あいさつ 2 議題 1) 施策評価（点検・確認）のねらいと進め方について 2) 施策評価シート フォーマット（案）について 3) 推進会議（第3回・第4回）の進め方について 3 その他
資 料	資料1：第6次高浜市総合計画推進会議（第1回） 会議録 資料2：第6次高浜市総合計画 基本計画（中期） 施策評価（点検・確認）の進め方
別添資料	・〇〇部長の執行宣言！（平成26年度振り返り版・平成27年度版） ・第6次高浜市総合計画アクションプラン（平成27年度版）

1. あいさつ

- 会 長： ・本日はお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。ただ今より、第6次高浜市総合計画推進会議（第2回）を開催する。
- ・本日は、次回以降に行う施策評価（点検・確認作業）の進め方について、委員の皆さんにご理解・ご確認をしていただき、共通認識を深めてまいりたい。
- ・限られた時間の中で端的、かつ、要所をおさえながら進めてまいりたい。
- ・また、本日は、後ろに行政各部局の職員が出席しているので、ご紹介いただきたい。
- 行 政： ・資料2の10ページ「施策評価シート」（内部評価）作成担当部署一覧をもって紹介に代えさせていただく。今後、中期基本計画の推進部署の部長やグループリーダー等が、この推進会議に出席のもと、担当分野に関する発表や質疑応答の対応等に当たらせていただくので、よろしくお願ひしたい。
- 会 長： ・前期基本計画に引き続き、中期においても、この推進会議に全庁一丸となって対応してくださるといふことで、非常に心強く感じている。

2. 議題

1) 施策評価（点検・確認）のねらいと進め方について

- 会 長： ・それでは、議題1「施策評価（点検・確認）のねらいと進め方について」に入りたい。前期で推進会議及び市民会議をご経験でない方にとっては、施策評価は初めてのことになる。また、前期から少し方法・やり方を変更した部分もあろうかと思う。
- ・議題1では、あらためて「施策評価」を行うねらい、また、具体的にどんな作業を行っていくのか、確認をしていく。
- ・それでは、事務局より説明をお願いしたい。
- 行 政： ・資料2の1ページをお願いしたい。はじめに、施策評価であるが、総合計画を実効性のあるものとしていくため、「自治基本条例」と「第6次総合計画」に「計画の進行管理」を位置づけ、PDCAサイクルを回し、目標の達成状況の点検・検証、事業の見直し・改善を行うこととしており、それに基づき実施するものである。
- ・2ページをご覧いただきたい。評価の種類であるが、総合計画の体系に沿って、「施策評価」と「事務事業評価」の2種類がある。総合計画推進会議においては、「施策評価」を実施し、中期基本計画に掲げる11の目標について点検・確認を行っていく。
- ・施策評価のねらいであるが、1つは、緊張感を保ちながら、様々な観点から点検・確認を行い、事業の見直し・改善に反映させることにより、よりよい行政サービスにつなげることにある。2つ目には、市政運営やまちづくりの課題について共通認識を持ち、解決に向けてともに行動していくためには、推進状況等を分かりやすく発信し、情報共有を図るとともに、市政の透明性

を高め、説明責任を果たしていくことにある。

- ・3ページをご覧いただきたい。施策評価の進め方であるが、施策評価は、行政による内部評価と推進会議委員の皆さんによる外部評価の2段階で実施をしていく。推進会議委員の皆さんには、後ほど説明する「施策評価シート」を基礎資料としてお示しし、担当部署からの発表を踏まえ、4ページ中ほどにある「評価（点検・確認）の着眼点」を基に意見をいただきたい。

会 長： ・ただ今の事務局からの説明について、ご質問・ご意見等あればお願いしたい。
(質問・意見等なし)

2) 施策評価シート フォーマット (案) について

会 長： ・それでは、施策評価については、具体的に評価シートのフォーマットを見ていただいた方が、議論・理解がしやすいかと思うので、次の議題「施策評価シート フォーマット (案) について」に移りたい。

- ・事務局より、説明をお願いしたい。

行 政： ・資料2の5ページから8ページになるが、施策評価シートの案を事務局で作成した。ただ今からシートの中身について説明を行うが、はじめに、この施策評価シートは、推進会議委員の皆さま方の他に、最終的には市民に公開される資料となる。よって、ポイントをしぼり、分かりやすく・見やすくということを中心、1目標当たりA3両面1枚でまとめていきたい。前期の際の施策評価シートは「A3・1枚・片面」で収めていたが、「文字が小さく見にくかった」といった反省点を踏まえ、改善をした形となっている。今回の推進会議では、委員の皆さんからシートについて「もっとこうした方が分かりやすいのではないか」といったご意見をいただきながら、フォーマットを固めたい。

- ・PDCAサイクルの流れが分かりやすくなるよう、Ⅰ. 目指す姿～裏面のV. 点検・確認結果までの5つの項目を掲げている。ここからは、各項目の記載内容と、その記載内容に対する推進会議での着眼点について説明する。
- ・まず、【PLAN】の部分になる、Ⅰ. 目指す姿だが、「各目標の達成に向けての考え方」及び「目標が達成された姿」を、総合計画の内容から転記をしている。
- ・続いて、【DO】として、Ⅱ. 目標達成のための主な取組みには、目標ごとに掲げられている「こんなことに取り組みます！」の内容を踏まえ、平成26年度、目標達成に向け行政がどんなことに取り組んできたかを記載する。推進会議では、「実施した取組み内容は、目標達成のための手段として適切・有効であったか」に着目をしていただきたい。
- ・続いて、【CHECK】としてⅢ. 目標の達成状況と結果分析には、現在集計中である「市民意識調査の結果」及び「みんなで目指すまちづくり指標」の状況をグラフで掲載する。そして、それぞれの結果を踏まえての分析とし

て、指標が達成できた・できなかった要因を行政において分析するとともに、見えてきた課題についても記載をする。推進会議では、行政が行った分析や課題把握の視点は的確で、ポイントがずれていないか、また、指標の目標値や指標そのものを見直す必要はないか、といった観点に着目していただきたい。

- ・続いて、【ACTION】としてⅣ. 課題と今後の取組みだが、平成26年度取組みや市民意識調査結果、みんなで目指すまちづくり指標の状況から見えてきた課題を3つ挙げ、それらの課題解決に向け、今後、具体的にどんなことに取り組んでいくのかを記載する。推進会議では、挙げられた課題が的確に捉えられ、その課題解決のための取組みが、課題を的確に踏まえ、目標達成に向けた手段として有効か、また、行政が挙げた取組み内容以外に、もっと効果的・効率的な方法はないか等に着眼点を置いていただきたい。
- ・最後に、資料の7・8ページ、シートの裏面では、行政の【DO】【CHECK】【ACTION】それぞれに対する点検・確認結果として、委員の皆さんからのコメントを整理したいと考えている。

会 長： ・ただ今説明のあった内容を振り返ると、A3の見開き2ページで収めるには、情報量が多いということで、A3用紙の両面でまとめることとした。

- ・Ⅰ～Ⅳの項目までは行政内部で作成をし、また、Ⅴの項目がA3の裏面に付くということか。

行 政： ・その通りである。

会 長： ・Ⅴの項目が、委員の皆さんからのご意見をまとめるページということでご理解いただきたい。

- ・ただ今の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いしたい。

委 員： ・2点確認したい。1点目は、Ⅲ—1「市民意識調査結果」及びⅢ—2『「みんなで目指すまちづくり指標」の状況』において、前期の結果を踏まえた数字の見せ方を考えてはどうか。特に「みんなで目指すまちづくり指標」は、過去の数値も見せると、見る人にとって分かりやすいのではないか。

- ・もう1点は、【CHECK】の項目が、「市民意識調査」と「みんなで目指すまちづくり指標」が中心となっているため、Ⅱ. 目標達成のための主な取組みの結果が、文章でも記載されると良い。

行 政： ・まず、1点目についてであるが、中期で指標を見直したものもあり、前期のから続けて記載するとなると、分かりづらくなるとの考えから、中期からの数値の推移ということで絞っている。

- ・2点目については、“取組みを行ってきた結果、こういった状況が生まれた”といった内容が、施策評価シートⅢ—3「市民意識調査」や「指標」の分析の部分で、文章で表現されるものと思っている。

会 長： ・その他ご質問・ご意見等はあるか。

(質問・意見等なし)

3) 推進会議（第3回・第4回）の進め方について

- 会 長： ・続いて、議題3「推進会議（第3回・第4回）の進め方について」、事務局より説明をお願いしたい。
- 行 政： ・資料の9ページをお願いしたい。7月29日（水）開催の第3回推進会議及び、8月5日（水）開催の第4回推進会議では、本日と同じように施策評価シートの作成に関わった部署の部長及びグループリーダーが出席をし、行政でとりまとめた「施策評価シート」（内部評価）の内容を、目標ごとのとりまとめグループのリーダーから発表を行う。
- ・第3回推進会議では、基本目標ⅢとⅣ（目標6～11）の発表、第4回推進会議では基本目標ⅠとⅡ（目標1～5）の発表を行う。
 - ・当日は、行政からの発表を一通り行ったのち、目標ごとに、委員の皆さんからの聞き取り及び意見交換を行う時間を設けたい。
 - ・行政からの発表で、特に重点を置いて説明を行うポイントとしては、「施策評価シート」のⅢ-3「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析内容及び、Ⅳ、「課題と今後の取組み」の部分になる。とりまとめグループのリーダーにおかれては、課題をどのように捉え、課題解決に向け今後どのように取り組んでいこうと考えているのか、といった決意を発表していただきたい。
 - ・最後に、行政でとりまとめた施策評価シートについては、委員の皆さんに事前送付する。会議当日までにご一読いただいた上で、発表を聞いていただくとよろしいかと考えている。
- 会 長： ・ただ今の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いしたい。
（意見・質問等なし）
- 会 長： ・それでは、推進会議（第3回・第4回）の進め方については、委員の皆さんからご了承いただけたということで、事務局におかれては、事務を進めていただくようお願いしたい。

3. その他

- 会 長： ・以上で本日の議題は全て終了したが、その他ということで、事務局から「〇〇部長の実行宣言！」について、紹介をお願いしたい。
- 行 政： ・推進会議の議題とは直接関係はないが、別添資料として、部長マニフェストでもある「〇〇部長の実行宣言！」を配布させていただいた。
- ・1つが、26年度の実行宣言に対する振り返り、もう1つが、27年度の実行宣言となっている。26年度の振り返りでは、昨年度どういったことに力を入れて取り組んできたか及び、27年度に向けての想いを記載している。27年度の実行宣言では、各部局が今年度力を入れていく取組みについて記載をしている。

- ・委員におかれては、後ほど目を通していただき、ご質問・ご意見等については、総合政策Gから各部局へおつなぎし、対応させていただく。
 - ・ちなみに、この中期基本計画の推進会議については、「企画部長の実行宣言！」において記載をしている。
- 会 長： ・地方自治体の場合は、議会と首長との二元代表制なので、国会とは違うのだが、都道府県及び市町村の部長は、国で言う“大臣・首相補佐”に相当すると思っている。そういう高い位置づけから言うと、マニフェストを出されるのは非常に好ましいと感じる。
- ・では、まだ時間も残っているため、委員の皆さんから一言ずつ、施策評価について及び、実行宣言についてのご発言をいただきたい。まず、副会長の酒井委員からお願いしたい。
- 委 員： ・実行宣言に関して、全てに目を通してはいるわけではないのでお聞きするが、平成26年度の反省点とそれを踏まえた今後の進め方についてはどこに記載があるか。
- 行 政： ・平成26年度の振り返りの実行宣言において、取り組んできた内容について自己評価をし、27年度に向けた意気込み等を記載している。
- 委 員： ・前回の推進会議において、さわたり夢広場10周年イベントの案内をさせていただいたが、先日盛大に開催することができ、感謝申し上げます。
- ・実行宣言は、文章にするとやはりそれだけの重みが出てくる。いろいろなアクションがあるが、少しずつ実行していただきたい。
- 委 員： ・実行宣言を見ると、総合計画に掲げられていることが取り組みにどうつながっているのかが直接伝わってくる。とても良いことだと思う。
- 委 員： ・子どものための取り組みがたくさんあるが、お母さんたちが頑張れば子どもたちの笑顔が増えるという想いをもちながら、少しでも協力できたらと思う。
- 委 員： ・実行宣言の26年度と27年度の写真を、意気込みも新たにとの考えから、せめてホームページにアップされている写真だけでも変えてはどうか。
- ・施策評価について、シートの作成段階で、若い職員も関わりながら作成されているのか。そういった機会がないのであれば、ぜひ体系立ててほしい。
- 行 政： ・シートは、おそらくグループリーダー及び係長クラスの職員で作成されているのが実態であろう。いただいたご意見を踏まえ進めていきたい。
- 委 員： ・実行宣言に記載のある取り組みが、アクションプランにないのはどうなのか。実行宣言にあるがアクションプランにないと市民が混乱するのではないか。
- 行 政： ・行政の内部的な取り組みについては、アクションプランに記載されていないものもある。
- 委 員： ・市民の皆さんへのメッセージの欄は、「～しましょう」や「ご協力をお願いします」など、市民に投げ掛けるような言い回しにすると良いのではないか。
- 行 政： ・ご意見として承りたい。
- 委 員： ・次回以降の施策評価の発表の際は、結果の分析にポイントを置いた説明をお

願いたい。

- 委員：・“行政の取組みへの市民の関わりが、総合計画への反映や市のチカラにつながっているんだよ”ということが、うまく市民に伝えられると良いと感じる。
- 委員：・総務部長の実行宣言において、26年度と27年度でアクションプランの事業名が変更しており、見えてきた課題を27年度にどうつなげていくのかが見えにくいと感じた。加えて、都市政策部長の実行宣言においても、26年度を振り返った結果、27年度どう展開していくのかが見えにくいと感じた。
- 行政：・ご意見として承る。
- 委員：・貴重なご意見ありがとうございます。
- ・人口問題研究所の推計では、2040年も高浜市の人口は増え続ける。要因は当市の合計特殊出生率が1.8と高いことにある。これは長久手に次いで県下2位である。ただ、人口が維持すると言われる2.1には届いておらず、社会増に期待しなければいけない部分があるため、今後も計画人口48,000人に向けて計画を推進していく。
- 会長：・最後に、私から一言述べさせていただく。
- ・ただ今の神谷委員のコメントに即して言うと、高浜市の人口が増え続けるのは、高浜に外部人口を導く力があるということ。これは自然増ではなく社会増に起因する。そういう点では、高浜は“純粋に高浜生まれ高浜育ちの人だけでここまで成長してきたわけではない”ということ。そういった視点をこれからも持ち続ける必要がある。
- ・今後、高浜の施策を評価していく上で大切な視点となるのは、粗探しではなく、まちを良くしていこうというビジョンを持つことである。世間では、“まちづくり人材3点セット”として、「バカモノ」「ワカモノ」「ヨソモノ」が言われている。「バカモノ」は、「一国者」と言った方が私は良いと思うが、高浜生まれ高浜育ちのような、ずっとそのまちに住み続けるお宝のような市民、2つ目の「ワカモノ」。「ワカモノ」には教育や保育等の施策の恩恵を及ぼす必要がある。3点目の「ヨソモノ」。「ヨソモノ」にもっと自分のまちに魅力を持ってもらう。最近、“もう少しその視点を強化してはどうか”と思うようになった。
- ・「ワカモノ」はこうありたいという夢・エネルギーを持つ。「ヨソモノ」は外部評価を恐れず、むしろ外部評価を求めに行く。「バカモノ」は内部資源を大切にする。この3つが揃った時にまちは活力を発揮する、そう感じている。
- ・長時間のご審議、感謝申し上げます。これをもって、第2回総合計画推進会議を終了する。

【会議のようす】

